

## 前立腺肥大症

こんな症状はありませんか？50歳以上の男性は五人に一人が前立腺肥大症だといわれています。オシッコの後に尿がまだ残っている感じがしたり、二時間以内にもう一度行かなければならないことがあったり、オシッコの途中で尿がとぎれることがありますか。オシッコをがまんするのがつらいこと、勢いが弱いと感じたこと、する時にいきむ必要があること、床に就いてから朝起きるまでに何度かオシッコに起きることはありませんか。

前立腺は、精液の一部である液体を分泌する栗の実大の器官で、膀胱の出口付近の尿道を取り囲む形で位置しています。前立腺肥大症は、この前立腺が肥大し尿道を圧迫するため、尿の出が悪くなり、排尿時間も長くなり、また残尿やオシッコの回数が増える病気です。

前立腺肥大症は良性の病気で、腎不全などに注意すれば、命に関わることはない病気です。そのため患者さんのクオリティ・オブ・ライフを重視し、できるだけ手術を行わずに、薬物療法を行うようになってきています。前立腺の平滑筋の緊張をとり、排尿時の抵抗を少なくする薬が効き目も早く一般的によく使われています。時には血圧低下を起こし、立ちくらみなどを引き起こすことがあります。前立腺の肥大に影響のある男性ホルモンの作用を抑える薬もあります。肥大した前立腺を縮小させ、排尿障害を改善します。ただ男性機能を弱くすることがあります。

一般に外来にかかっていたらと、尿検査の後に、下腹部に超音波探触子をあてて膀胱を通

して前立腺の形と大きさ、残尿の程度を調べます。

また肛門の中に指を入れて前立腺の大きさ、表面の状態、硬さ、硬結、圧痛等を調べます。50歳以上の人は前立腺特異抗原（PSA）の血液検査を念のため行います。

最近 PSA という文字を新聞、テレビでよく見聞きするようになったと思います。欧米諸国と同様に近年我が国でも前立腺癌が増加しており、50歳を過ぎた男性は、前立腺癌の心配もしなければなりません。1986年頃から臨床に導入された PSA は、前立腺の細胞からつくられ、前立腺癌に対する優れた腫瘍マーカーで、前立腺癌のスクリーニングなどに広く利用されています。血液検査の結果は以前外部委託検査のため一週間以上程かかりましたが、現在は院内で簡単に測定できるようになりました。その結果を考慮して前立腺の組織検査すなわち前立腺生検をするかどうかを考えます。正常値は4.0であり、60 - 64歳では3.0以下、65 - 70歳では4.0以下であれば一年毎の検診が推奨されています。

前立腺肥大症や前立腺炎などの良性の病気でも PSA が上昇する場合も多く、値が4.0 - 10.0で前立腺癌が見つかる場合は二割程度です。職場での検診項目に最近は取り入れられていることが多くなりましたが、まだまだ一般化していません。尿の通り道を調べる検査は造影剤と言う診断薬を静脈注射して腎、尿管、膀胱の形をみる方法があります。前立腺が大きくなると膀胱を下から圧迫して膀胱に入る尿管をじゃますることもあります。また尿管自体が太く  
(次のページに続きます)

なってしまうこともあります。尿道を直に見るために膀胱鏡という検査もありますがなかなかつらい検査であり、膀胱の中に腫瘍がなさそうな時は省きます。尿の勢いを調べる検査もあります。自覚症状と残尿が多い場合、手術を考えることとなります。繰り返し尿が出なくなったり、前立腺肥大症による悪い影響がある場合はすぐに手術がすすめられます。

TURPといって経尿道的に前立腺を電気メスで切除する手術が回復期間も早く、より低侵襲であり最も普及しています。腰からの下半身麻酔で行え、一時間前後で終わります。前立腺が大きい場合は時に輸血の準備が必要ですが、可能な場合自分の血液を前もって貯めておき手術の終わりに体に戻す自己血貯血をすることがあります。手術後尿道カテーテルをしばらく留置することになります。削った組織は悪い部分がないかを調べ問題がなければ、手術後10日前後で退院となります。この機会にオシッコの出にくい人は一度泌尿器科の門をたたいてください。

(文責 泌尿器科 傍島 健)



### 看護部理念

地域のみなさまに信頼され、安全で安心できる看護を提供します。

### 看護部方針

1. 笑顔で、やさしく
2. 丁寧で、確実に
3. 信頼される看護者をめざす



## 1 病棟 4階の紹介

私達の病棟は非常に長い廊下をはさんで病室が並んでおります。その廊下は100m近くあり、子供さんが徒競走をしたくなる程の長さがあります。ぜひ、一度見学においでください。

当病棟はベッド数68床（外科60床、泌尿器科8床）、主に手術をうける患者さんが入院されます。大きな病棟ですので看護職員は33名と大所帯です。

今年度の当病棟の目標は「看護師としてプロの仕事を患者さんに提供させていただく！」としました。職員は全員明るく、元気いっぱい毎日、患者さんの看護をさせていただいております。

患者さんは手術と聞くだけで気分も落ち込み、生きる力を失いそうになられる方も、ときには見受けられます。そのため当病棟では入院から退院まで一人の看護師が親身になって看護させていただいております。特に手術前後の患者さんの体と心のケアを大切にしております。

そのため、術後はその患者さんにあわせて早めに日常生活ができるようなケアに心がけております。その為のスケジュール表を用意してあります。患者さんがお元気になられて退院される時の笑顔から、私達看護師はその方から逆に元気を戴いています。



## 「小児科ナイト」開始のお知らせ

平成 16 年 10 月から人員不足のため夜間・休日の救急と入院治療ができなくなり、市民の皆様には大変な御迷惑をおかけ致しております。子供の健康を守るべき立場の私達と致しましても、現在の状況は誠に心痛の極みであります。

そこで、子供達への医療提供を何とか改善したいという思いから、平成 17 年 5 月 2 日より「小児科ナイト」と銘打って、平日夜間に小児科救急診療を開始致します。夜になってからの発症や症状の悪化等があり、翌日までご自宅でみるのは心配という方は、どうぞ受診下さい。今まで通り入院治療は原則できませんが、各種緊急検査、点滴治療等が可能です。やむなく入院が必要となった場合には、当方から責任を持って他院へ紹介させていただきます。

**公的病院としてはほとんど前例がない試みですので、開始後はいろいろな問題点が出てくるかと思いますが、その折りにはどうぞ率直な御意見をお聞かせ下さい。**

### 【小児科ナイト診療案内】

	月	火	水	木	金
担当医	柳瀬	柳瀬	柳瀬	柳瀬	柳瀬

受付時間 : 平日午後 8 時～11 時

診療場所 : 当院救急外来

土曜日、日曜日、祝日、年末年始は休診です。

どこに受診すればよいのかご不明の際には、救急医療情報センター（電話番号：0586-72-1133 または 052-263-1133）にお問い合わせ下さい。

平成 17 年 4 月 稲沢市民病院小児科

### 稲沢市民病院 基本理念

地域の皆様に親しまれ信頼される病院をめざします。

### 基本方針

1. 患者さん主体の医療を行います。
2. 地域の基幹病院として、急性期医療の充実に努めます。
3. 地域医療機関と連携し、地域医療の充実に図ります。
4. 安全で質の高い医療を提供します。
5. 職員の教育・研修を行い、医療の質の向上に努めます。

### 稲沢市民病院ニュース 第12号

発行日 平成17年4月28日発行

発行元 稲沢市民病院

〒492-8510 稲沢市御供所町1-1

※ ご意見をお待ちしています

電話 0587 (32) 2111

ファックス 0587 (32) 2151

電子メール [hospital@city.inazawa.aichi.jp](mailto:hospital@city.inazawa.aichi.jp)

(発行部数 1,000 部)